

平成25年度第5回桜井市地域公共交通活性化再生協議会会議要旨

○ 日 時 平成26年2月20日（木）午後2時

○ 場 所 中央公民館 3階 大会議室

○ 出席者 協議会委員9名

事務局4名 コンサル2名

○ 会議内容

1. 挨拶 桜井市副市長 元田 清士

2. 「桜井市公共交通の充実に関する提言書について」

【事務局説明】

- ・ 資料のとおり説明
- ・ 提言書の内容については桜井市地域公共交通総合連携計画（案）の内容に反映している。各地域に関する意見については、次年度に作成する実施計画に反映する。

【質疑応答】

- ・ 提言書について、協議会から市議会に対して回答しているのか。
→回答という形ではなく、これを踏まえて検討するということである。
- ・ 市議会への説明は予定しているのか。
→3月3日の全体協議会で説明する予定である。総合連携計画を渡し、提言の中身をどのような形で反映したかについても説明する。

3. 「平成26年2月3日開催 奈良県地域交通改善協議会 報告」

【事務局説明】

- ・ 資料のとおり説明

【奈良県地域交通課よりの補足】

- ・ 利用実態などのデータに基づき的確に判断し、改善、廃止していくためのツールとして指標を使っている。
- ・ 指標に基づく必要性等の協議とあわせ、利用促進方策についても協議会だけでなく住民も入れてご検討いただきたい。
- ・ 県のアクション、交通事業者のアクションとして、路線グループごとの協議を行っている。それを踏まえ、3月末にかけて市町村のアクションをまとめるスケジュールである。協議会での議論をお願いする。

- ・ 隣接する市町村と連携しながら、今の路線バスをコミュニティバスとして運行するという選択肢も視野に入れながら検討してほしい。

【質疑応答】

- ・ 検討は始まっているのか。
 - (奈良県地域交通課による回答)今週から路線グループごと、たとえば天理桜井線であれば、天理市、桜井市、奈良県、奈良交通、近畿運輸局とで検討している。
- ・ 資料2、別紙1の県内のデマンドタクシーにおける平均乗車人員の数字は1便当りか。運行日数当りか。
 - (奈良県地域交通課による回答)デマンドタクシーを運行する5市町村の全利用者数を運行日数で割った値である。
- ・ 資料2、別紙2の数字は承認されたものか。
 - (奈良県地域交通課による回答)この数字によって、仕分けをしているというものである。
- ・ 桜井菟田野線については検討の必要がないのか。
 - 桜井菟田野線については、県と市の補助がすでに入っている。県の補助を受けるに当たり、桜井市と宇陀市が距離按分で費用を負担していることもあり、収支率が40%を超えている。今後、維持するかどうかについては検討していく必要があるが、今すぐに便数やダイヤについて検討する必要はない。
- ・ 40%というのは、国の基準か。
 - (奈良県地域交通課による回答)県として40%を下回る路線は対象外にすることとしている。
- ・ 市が補助して40%を超えたら補助するということか。
 - (奈良県地域交通課による回答)そういうこともある。

4. 「桜井市地域公共交通総合連携計画（案）について」

【事務局説明】

- ・ 資料のとおり説明
- ・ 提言書の反映について説明

【質疑応答】

- ・ 26年度からということだが、交通政策基本法の関連で、実施要綱が年末に出てくる。補助内容等を反映できる体制なのか。

→計画期間は26年から3年間としているが、交通政策基本法についての情報は把握している。計画の中身に関連する部分が出てきた場合は、協議会に諮り、計画変更について柔軟に対応していきたい。

- フルデマンドとは何か。
→いつ呼んでも来てくれるデマンドのことである。上之郷のデマンドは運行時間帯が決まっており、フルデマンドではない。

【近畿運輸局奈良運輸支局よりのアドバイス】

- 先進事例として、香芝市のフルデマンドタクシーの紹介があったが、実証運行期間中であり、乗合率が1人台であったり、通常のタクシーからデマンドへの振替が生じたりして、新たな需要につながっていない面もある。先進事例として入れるのはどうかと考える。
- 事例集の事例はどこから集めたのか。
→連携計画を策定する際に収集し、参考とした事例である。協議会の判断で外すことは可能である。
- (奈良交通より) 香芝市では、私どもの運行する公共バス4台とフルデマンドタクシー8台が走っている。フルデマンドは目的地が多すぎて、乗合率が低い。路線バス、公共バス、デマンドタクシー、タクシーの役割分担が重要だが、一部地域のタクシーからデマンドに移行しており、200円で公費を使ったタクシーのようにになっているのが問題だと思う。フルデマンドは、歴史が長くないため、場合によっては、若者も高齢者も広く利用できるものなのに、今は暗黙の了解で移動制約者の乗物という認識になっている。香芝市では、幼稚園の園児を祖父母が送迎する時に利用するなど、これまでとは異なる利用も出ている。
- (奈良県タクシー協会より) 香芝市からドア・ツウ・ドアの利用にエスカレートしているとの相談を受けた。ドア・ツウ・ドアはタクシーが担うべきであり、フルデマンドはあくまでも乗合事業である。タクシー協会としてはフルデマンドには反対だと香芝市に話した経緯がある。地域交通については、バス事業やタクシー事業が衰退するような計画ではだめである。総合的に考えた交通計画でなければならないと思う。
- 香芝市では、1社が独占しているという話も聞く。タクシーを使って

いるのとほとんど同じであるが、近畿運輸局はどう考えているか。

→（近畿運輸局奈良支局より）公共交通の棲み分けについては、これまでもお願いしてきたところであるが、地域に応じた形があり、フルデマンドがだめというわけではない。

- ・ 実証運行の事例は香芝市だけか。
→実証運行は香芝市のみである。フルデマンドは三郷町が本格運行している。事例には、香芝市のかわりに三郷町を入れることとする。

【奈良県地域交通課よりのアドバイス】

- ・ 目標については、課題と対応させた記述があった方がわかりやすい。
- ・ 県が連携計画策定に補助するに当たり、計画には、目標ごとに具体的な実施メニューの記述が必要とされる。
→課題と目標の対応を整理し、P 8 9の目標の下に記載する。
具体的なメニューについては、目標に対応させてそれぞれ記載する。

【事務局】

ご指摘を踏まえた修正案を委員に送付し、それに対するご意見をF A Xでいただくこととする。

異議なく、承認される。

5. 「桜井市地域公共交通総合連携計画（案）のパブリックコメントの実施について」

【事務局説明】

- ・ 資料の説明
- ・ 募集期間は平成26年2月26日～平成26年3月11日(14日間)

6. 「高齢者総合福祉センターのバス停設置について」

【事務局説明】

- ・ 資料のとおり説明

【質疑応答】

- ・ 市議会からの提言書にあるお昼からの要望に対応できていないというのはどういうことか。
→駅からの便は13時台、談山神社からの便は12時台がないということである。
- ・ この案では、その時間は「倉橋池口」から歩いてもらうことになるのか。朝早くと閉館時の利用が多いということか。

→そうである。関連する機関と調整しこの時間が良いということで設定している。

異議なく、承認される。

【事務局】

パブリックコメントの結果で、大きな変更があれば協議会を開催する。軽微な変更の場合は、協議会を開催せず、文書による確認をお願いする。また、個別の路線協議について一定の方向が出た段階で、協議会を開催する予定である。